

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	文学A		
英文授業科目名	Literature A		
開講年度	2006年度	開講年次	1、2年次
開講学期	1、3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>日本文化のさまざまな常識について講義し、学生諸君に日本文化の本質について考えてもらうきっかけとしたい。諸君は、日本に生まれて約20年。どれくらい、日本のことを知っているだろうか。そして、どれくらい、知らないだろうか。</p> <p>新聞で議論になっているさまざまな問題は、いずれも日本文化の本質に深く触れる難問である。そういう問題に対して、諸君が自分自身の考えを持てるように、最低限の「常識」を講義したい。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特に、なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特に、なし。

<b>【教科書等】</b>
教科書は、使用しない。毎時間、プリントを用いて講義する。

【授業内容とその進め方】

次のような講義内容を考えている。それぞれが、1～2回。

- ・天皇は、なぜ「男系」でないとならないと考える人がいるか。
- ・脳死は人の死でないと考える人がいるのは、なぜか。
- ・なぜ靖国神社は造られたか。そもそも「合祀」とは何か。
- ・「県民性」は、本当にあるか。
- ・「君が代」の「君」は、誰を指すか。
- ・官僚制は、いつから始まったか。
- ・日本人は「異文化」をどのように吸収してきたか。
- ・日本人の「教育・大学・学者」に寄せるイメージは、どのようなものか。
- ・日本人の考える「幸福」とは、どのようなものか。
- ・「偽書・ガセネタ」の歴史をたどる
- ・「いじめ」と「犠牲」の相違は、どこにあるか。
- ・日本人の考える「男と女」の役割分担は、どのようなものだったか。
- ・日本人は、なぜ甲子園野球に熱中するのか。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランク下げる。また、何回か出席を取る。

この講義に触発されて諸君がどのくらい書物や新聞を読んだか、この講義と自発的な思索によって諸君がとれだけ新たな認識に到達したか、その点を考慮して採点する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

知っているようで、知らないのが、日本文化。その成り立ちに触れることで、現代日本の「精神的なDNA」が見えてくる。それは、楽しくあると同時に、恐ろしく感じられることもあるだろう。

【その他】